

上智大学法科大学院環境法政策プログラム (SELAPP)セミナー



日時 2024年11月16日(土)13:30~16:30

会場 上智大学四ツ谷キャンパス 2号館508教室(対面のみ)

◆次第(変更の可能性あり)

13:30~13:35 開催校より挨拶

13:35~14:05 「愛護動物虐待等罪の基礎」(三上正隆・愛知学院大学)

14:05~14:35 「動物虐待事犯の現状」(小野寺智也・警察庁)

14:35~15:05 「動物虐待と自治体の役割」(遠山潤・新潟県)

15:05~15:20 休憩

15:20~16:30 三上正隆・小野寺智也・遠山潤・箕輪さくら(信州大学)による

パネル・ディスカッション(司会:北村喜宣(上智大学))

◆企画趣旨

近年、ペットの飼育数は子どもの数を超えるまでになり、ペットを家族のような特別な存在と認識している人が増えています。一方、ペットにまつわる問題も多く報道されています。警察庁によれば、2023年に警察が摘発した動物虐待事件は、統計を取り始めた2010年以降で最多の181件でした。

ペットに関連する法律問題については一般市民からの関心は高いものの、法学の世界では決してメインテーマではありませんでした。しかし、今年度司法試験の論文式問題に動物愛護管理法に関する出題がされたり、雑誌「法学教室」で動物法の特集が組まれるなど、法学の世界でも注目を浴びつつあります。

そこで、今年度のSELLAPセミナーでは、動物虐待をテーマに、動物愛護管理法44条の運用に関する現状と今後の対応について検討します。



◆お問い合わせ(*を@に変更してご送信ください。)

北村 喜宣 kitamu-y*sophia.ac.jp

箕輪さくら sakuram*shinshu-u.ac.jp